

県民の友 9

No.973
令和元年(2019)
月号

県政最前線

大災害から 命を守る!

津波避難タワーへの避難訓練を行う園児や
地域住民の皆さん(御坊市)

大災害から 命を守る！

けんちょうききかんり しょうぼうか
県庁危機管理・消防課
☎073-441-2260
けんちょうぼうさいきかくか
県庁防災企画課
☎073-441-2271

南海トラフ沿いの3つの領域(東海・東南海・南海)では、これまで約90〜150年周期で津波を伴う地震が発生しており、県内でも大きな被害を受けてきました。

政府は、全国で地震・津波対策が進められた結果、南海トラフ地震での想定死者数が3割減少したとの最新の試算を発表しましたが、甚大な被害が発生することには変わりはありません。

県では、「災害による犠牲者ゼロ」の実現に向けて、「津波から『逃げ切る!』支援対策プログラム」に基づく津波対策や住宅の耐震化、災害に関する情報の発信などさまざまな対策を進めています。

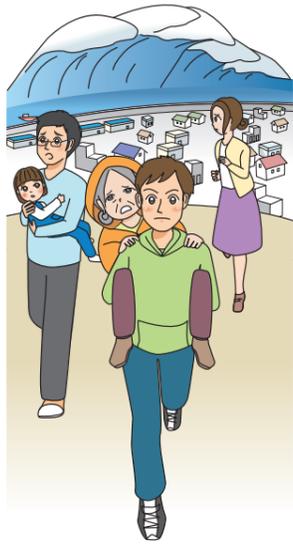
県民の皆さんも、災害が発生しても落ち着いて行動できるように、日頃から避難場所やハザードマップを確認するなど、災害に備えましょう。



想定地震規模	南海トラフ巨大地震 (理論最大規模) マグニチュード 9.1	東海・東南海・南海3連動地震 (過去最大規模) マグニチュード 8.7
最大津波高	8〜19m	5〜10m
最短津波到達時間	津波高1m: 3分	第1波最大津波高: 5分
津波避難困難地域	12市町61地区	4町22地区

津波避難3原則

- ① 想定にとらわれない
- ② 最善を尽くせ
- ③ 率先避難者になれ



津波について

●津波は繰り返しやってくる。第一波が最大とは限らない。(第一波が小さくても油断しない、引いても戻らない。)

●津波は引き波から始まるとは限らない。

●30cmの津波でもまきこまれるおそれがある。

●弱い地震でも大きな津波を引き起こすことがある。

●ゆったりとした長い揺れが続く場合は津波を引き起こす海溝型地震の可能性を考慮、避難する。(東日本大震災では3分以上も揺れが続いた地域もある。)

津波避難困難地域の解消

和歌山県は南海トラフが近いため、大規模地震が発生してから津波が到達するまでの時間が短く、最短3分で到達する地域があります。津波が到達する前に安全な場所まで避難することが困難な地域を津波避難困難地域と定めています。

県では、避難場所までの経路や避難に要する時間などを詳細に調査・分析し、「東海・東南海・南海3連動地震」と「南海トラフ巨大地震」でそれぞれ避難困難地域を抽出しました。

この津波避難困難地域を2024年度までにすべて解消するため、県では市町と協力して、堤防・護岸のかさ上げや耐震化、避難路・津波避難タワーの整備等のハード対策や、避難経路の設定、津波避難訓練等のソフト対策を実施しています。

津波避難困難地域は、県WEBサイトの「津波から『逃げ切る!』支援対策プログラム」でご確認ください。



津波から 命を守る

東日本大震災では、浸水想定域を大きく上回る津波がおし寄せ、多くの人命が失われました。地震の揺れが収まったら必ず避難してください。想定にとらわれず、率先して避難しましょう。

県では、時間が許す限り、より安全な避難場所をめざして避難できるよう、独自に避難場所に安全レベルを設定しています。あらかじめどこに避難するかを調べておき、ラジオ・テレビ・メール・防災無線などから正確な情報を素早く入手できるようにしましょう。

避難場所安全レベルの設定

より安全な場所へ迅速に避難しましょう!



レベル3 ★★★
浸水の危険性がない地域で、より標高が高くより離れた安全な場所を指定

レベル2 ★★
浸水想定近接地域で、「レベル3」へ避難する余裕がない場合の避難場所として指定

レベル1 ★
浸水の危険性がある地域で、時間的に「レベル2・3」へ避難する余裕がない場合の避難場所として指定

※津波浸水想定や避難場所安全レベルは、市町村にお問い合わせいただくか、県WEBサイトをご覧ください。

和歌山県津波浸水想定
和歌山県避難場所

防災スクール

問 県教育庁健康体育課 ☎073-441-3701

災害による被害を軽減するためには、自分の身は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」、行政による支援・救助である「公助」の三助が連携することが重要となります。

和歌山県では、このうち「共助」の担い手として中学生・高校生の育成を図っています。地域や関係機関と連携し、避難訓練や消火訓練の実施のほか、災害後に必要となる避難所運営や炊き出しの訓練なども実施し、専門的な知識や技術を習得する実践的な内容とする中で、災害発生時も地域ぐるみで円滑な対応ができるよう備えています。



通学で電車を利用する高校生には、災害発生時に周囲の人にも同様の避難行動を促す「率先避難者」となってもらいたいと思います。

日頃から訓練を行い、避難方法や身の守り方を理解しておくことで、災害が発生しても落ち着いて行動でき、周りの方の手助けができる余裕も出てきます。

訓練を経験した学生が、周りのその経験を伝達していくような広がりのある訓練となるよう、継続して実施していきたいと思えます。



地震

から命を守る



住宅耐震化

平成28年4月に発生した熊本地震では、家屋の倒壊により多くの方が犠牲になりました。南海トラフで起こる地震は、震源地が紀伊半島に近く、非常に強い揺れとなることが予想されるため、被害を軽減するためには住宅の耐震化が重要となります。

県庁建築住宅課

☎073-441-3214

県では、補強設計と改修工事をセットにした定額補助などにより、住宅の耐震化を支援しています。

県民の皆さんも、住宅の耐震化や家具の固定など、地震に備えた対策をお願いします。
 (対象は昭和56年5月以前に建築された住宅です。市町村によっては、木造住宅は平成12年5月以前に建築されたもの)



熊本地震で倒壊を免れた家屋(左)と倒壊した家屋(右)

大規模建築物の耐震化

耐震改修促進法により耐震診断が義務化された建築物のうち、避難所としての機能を有し、被災後の避難生活者を一定期間受け入れることができる大規模建築物(ホテル・旅館)などを対象に、平成25年に全国に先駆けて耐震改修に対する補助制度を創設しました。

これらの大規模建築物の耐震化は、令和2年3月末までに完成する予定です。

耐震ベッド・耐震シエルト

住宅の耐震より安価で、寝床や居住スペースの安全が確保できる、耐震ベッドや耐震シエルトの設置費用を補助しています。

対象

- 耐震診断の結果、耐震性を有しないと判断された木造住宅
- 申請者多数の場合は高齢者、障害者を優先

補助率と補助額

- 設置費用の3分の2
- 補助限度額26万6千円



設置費用に係る経費の例

経費	補助金	自己負担
40.0万円	26.6万円	13.4万円

※詳しくは、市町村耐震相談窓口へお問い合わせください。

空き家の耐震化について

普段は人が住んでいない空き家も、地震による倒壊により隣家に被害を与えたり、避難路を塞いだりする恐れがあります。

空き家についても一定の条件を満たせば、耐震改修の補助を受けられます。

県では定期的に無料の相談会を開催していますので、お気軽にご相談ください。

詳しくは県庁建築住宅課まで。

耐震診断

- 【木造住宅】住宅耐震診断士による診断が**無料**
- 【非木造住宅】耐震診断費の2/3を補助
- 補助限度額8万9千円

設計と改修工事を一体的に支援

耐震補強設計 + 耐震改修

- 県・市町村 定額補助66万6千円
- + 国 耐震改修費の40%を補助 補助限度額50万円

※定額補助 補助対象経費(設計費、工事費)の額に関わらず、一定金額を補助対象経費の範囲で交付

最大
116万6千円の補助

例 補強設計15万円、耐震改修85万円の場合

	経費	補助金等	自己負担
補強設計 + 耐震改修	100万円	100万円	0万円

※補助の内容は市町村によって異なります
 詳しくは市町村耐震相談窓口までお問い合わせください

ブロック塀の安全対策



熊本地震で倒壊したブロック塀

熊本地震や大阪府北部の地震では、ブロック塀が倒壊するなどの被害が発生しています。基準を満たさないブロック塀や老朽化したブロック塀は、倒壊により人的被害や避難路の寸断が発生する恐れがあり大変危険です。

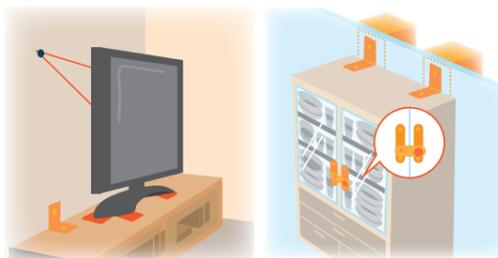
県では、建築士関係団体の皆さんのご協力により、地域毎にブロック塀の安全性に関する相談員を配置していただき、名簿を県庁建築住宅課のWEBサイトに掲載しています。改修方法などに関する相談に「ご対応いただけますので、ぜひ活用してください。」

また、市町村によっては、ブロック塀の撤去や補強に係る費用の補助制度を設けていますので、詳しくは市町村担当課にお問い合わせください。

家具固定

L型金具等による家具の固定や、家具の置き方を工夫することで家具の転倒時の被害を軽減しましょう。

また、県では家具固定施工業者登録制度を設けています。施工業者をお探しの際には「ご活用ください。」



県庁防災企画課

☎073-441-2271

「出張！減災教室」

「出張！県政おはなし講座」

県庁危機管理・消防課

☎073-441-2260

「出張！減災教室」では家庭や地域での防災意識を高めるため、地震体験車による地震体験や、避難所運営を体験できるゲーム、家具固定や住宅耐震化に関する実演・講座を実施しています。

また、「出張！県政おはなし講座」では県職員が直接会場に出向き、防災・減災対策の取組を説明します。学校の防災・減災教育、自治会や企業の研修などに「ご利用ください。」

日頃からの備え

非常持出品

避難するときにはまず最初に持ち出すべきものとして、避難バッグにひとまとめにし、すぐに持ち出せるよう置き場所を決めておきましょう。

〔非常持出品の例〕

- ・非常食・飲料水・救急医療品・常備薬・ヘルメット・現金
- ・モバイルバッテリー・携帯ラジオ・懐中電灯 など

非常備蓄品

救援活動が受けられるまでの間に必要な1週間分程度の水や食料などを、家屋が被災しても取り出せる場所に保管しておきましょう。

〔非常備蓄品の例〕

- ・備蓄食品・備蓄飲料・毛布・簡易トイレ
- ・卓上コンロ など

「ところてん方式」で備蓄も楽々！

消費

日頃から使用している消耗品・衛生用品・食料などを多めに買って置き、消費したら補充する「ところてん方式」で家庭での備蓄が簡単にできます。

補充

簡単にできます。



備蓄食品の選び方などについては、農林水産省のWEBサイトも参考にしてください。



家庭備蓄ポータル

風水害から命を守る



市町村が発令する避難情報を確認!

問 県庁防災企画課 ☎073・441・2284

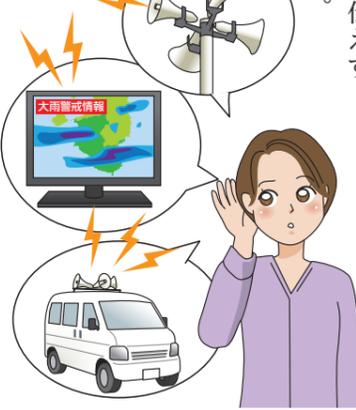
近年、全国的に集中豪雨が頻発し、河川の氾濫や土砂崩れなどの大きな災害が発生しています。本県でも平成23年の紀伊半島大水害など、台風や集中豪雨による土砂災害、浸水被害が発生しています。

県では、このような風水害から命を守るため、市町村が発令する避難情報を発令する際の判断を早期かつ的確に実施できるよう、平成24年に「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成のモデル基準」を策定しました。この基準は、市町村の避難勧告等の発令に遅れが生じないよう、市町村が判断しやすく実用性の高いものとしており、現在、国が示す避難判断を行うためのガイドラインにも取り入れられています。

また、県では日本気象協会の降水予測情報をもとに、最大51時間先までの降水予測を行う独自の気象予測システムを整備しています。これらをもとに市町村では的確な避難情報の発令判断に役立てていきますので、市町村から避難勧告等の避難情報が発令されたときは、適切な避難行動をとってください。

なお、今年の6月から市町村が発令する避難情報は、「警戒レベル」を用いてお伝えすることとなっています。

警戒レベルの詳しい内容を確認できます。



気象に関する情報、県が発信する防災情報や市町村が発令する避難勧告等の避難情報などに十分注意して、早めの避難を行い、自ら命を守りましょう。

また、日頃から避難場所等を確認しておきましょう。

早期復旧に関する協定
(関西電力、NTT西日本)

問 県庁災害対策課 ☎073・441・2261
 県庁情報政策課 ☎073・441・2405
 県庁道路保全課 ☎073・441・3110

平成30年9月の台風第21号では、倒木や土砂崩れなどにより大規模な停電や通信障害が発生し、長期間にわたって生活に混乱が生じることとなりました。

復旧までに時間を要したことを受け、県では、関西電力(株)、西日本電信電話(株)それぞれと停電や通信障害の復旧作業に関する協定を今年4月に締結しました。

今後、大規模な停電・通信障害が発生した場合には、県が両社の要請に基づき復旧作業の支援となる倒木・土砂などの除去作業を支援することで、より迅速な復旧につなげます。

土砂災害から身を守るための3つのポイント

問 県庁砂防課 ☎073・441・3171

- ① 台風が来る前!**
土砂災害警戒区域など、地域の土砂災害のおそれのある箇所を普段から確認する。
- ② 雨が降り始めたら!**
雨雲の動きと土砂災害警戒情報に注意する。
- ③ 豪雨になる前に!**
大雨時や土砂災害警戒情報が発表されたときは、早めに近くの安全な場所に避難する。また、夜間に大雨が予想される場合は、暗くなる前に避難する。

土砂災害警戒区域および特別警戒区域などを確認できます。

PC・モバイル端末 [わかやま土砂災害マップ](#)

情報を得る



県ではさまざまな方法で、県民の皆さんに防災情報を発信しています。災害に備えて、これらの情報を利用しましょう。

問 県庁防災企画課 ☎073・441・2284
 県庁河川課 ☎073・441・3134
 県庁砂防課 ☎073・441・3171

河川の情報・土砂災害の情報

県では、河川の水位やダムの情報、土砂災害に関する情報を、県WEBサイト、テレビ和歌山やNHK総合のデータ放送で提供しています。

6月から、河川監視カメラや水位計を増設し、地図上での危険度分布表示を約5km四方から約1km四方に改善するなど機能を拡充し、より詳しい情報提供を行っています。

早めの避難判断に、防災情報を有効に利用しましょう。



データ放送はリモコンのd(データ)ボタンを押すと視聴できます。



- ダムの放流量などの情報
- 雨量・土砂災害警戒情報
- 河川の水位情報やカメラ映像

[和歌山県河川雨量防災情報](#)

「和歌山県防災ナビ」アプリ

災害発生時に的確な避難を行っていただくための防災ポータルアプリです。現在地や自宅付近の河川水位情報や土砂災害危険度情報も6月から確認できるようになりましたので、ぜひ活用ください。



- 近頃の避難先を検索できます
- 安全に避難するための避難場所を表示
- 避難場所の安全レベルも確認
- 防災情報をお知らせします
- 事前登録なしで防災情報を配信
- 別の市町村に移動しても、その市町村が発令されている情報を配信

- 家族などの居場所を確認
- 家族など登録者の居場所を確認
- 避難カードの作成・共有
- 日頃からの避難トレーニングが大切です
- 避難経路や要した時間を記録
- 避難行動の安全性を確認

無料でご利用いただけます

アプリのダウンロード・ご利用にかかる通信料は、利用者のご負担となります。

Download on the App Store
 GET IT ON Google Play

河川水位情報を確認できます

現在地や自宅付近の河川水位、河川監視カメラ情報を表示

土砂災害危険度情報を確認できます

現在地や自宅付近の土砂災害の危険度を表示



防災わかやまメール配信サービス

県内の気象情報や地震・津波の情報、避難勧告等の発令情報など、さまざまな情報をメールでお知らせします。メールの受信には事前登録が必要となるので、ぜひ登録してください。

防災わかやまメール配信サービス登録用QRコード

登録用メールアドレス
 regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp

携帯電話でQRコードを読み込むか、登録用メールアドレスに空メールを送って設定すると登録されます。

エリアメール(NTTドコモ)緊急速報メール(au、ソフトバンク)

避難が必要となる津波などの緊急情報を一斉に携帯電話へ配信するサービスです。事前登録は不要です。

※受信できない、または個別に設定が必要となる機種があります。

とうりょうびょうぼう
糖尿病予防キャンペーン

講演、実技指導、展示など
時:9月15日(日) 13:00~16:00
場:*県JAビル(和歌山市)
定:200人(講演のみ)
問:県糖尿病啓発県民講座実行委員会
 ☎073-445-9436

いりょうてき じどう しえんしや
**医療的ケア児等支援者・
 コーディネーター養成研修**

時:①支援者 11月30日(土)、12月1日(日)2日間
 ②コーディネーター 11月30日(土)、12月1日(日)、令和2年2月1日(土)・2日(日)4日間
場:情報交流センター Big・U(田辺市)
定:各50人
申・問:郵送、FAXで所定の申込書(申込先で配布)を10月10日までに和歌山つくし医療・福祉センター 〒649-6215岩出市中迫665
 ☎0736-62-4121
 FAX0736-62-8185
 ※一時保育・手話通訳・要約筆記は要予約



こども わかものいくせいしえんけんみんたいかい
子供・若者育成支援県民大会

青少年健全育成成功労者・団体への表彰、パネルディスカッションなど
時:10月26日(土) 13:00~16:00
場:有田市民会館
定:700人
問:県庁青少年・男女共同参画課
 ※手話通訳・要約筆記あり



せきじゅうじけんみんだいがく
赤十字県民大学

①健康と病気の講座(6回)
 ②家庭での介護の講座(6回)
 ③病気と食物の講座(2回)
時:10月19日~令和2年2月8日の指定する土曜10:00~12:00
場:日赤和歌山医療センター(和歌山市)
定:①200人②③各50人 **抽選**
費:無料(テキスト代別)
申・問:往復ハガキ、電話で講座名、住所、氏名(フリガナ)、電話番号を9月30日までに日赤和歌山医療センター社会課 〒640-8558和歌山市小松原通4-20
 ☎073-422-4171

ちゅうこうせいどくしよ ポップ
中高生読書まつり・POPコンクール

おすすめの本を紹介するPOPを募集
対:県内在住・在学の中学・高校生(特別支援学校含む)など
申・問:郵送、持参で応募票(申込先、公立図書館、学校などで配布)を作品裏面に貼付し、9月3日~10月11日に県立図書館 〒641-0051和歌山市西高松1-7-38
 ☎073-436-9520
 和歌山県立図書館

ほいくし おうえん
保育士応援カフェ

保育士として再就職を検討されている方の情報交換の場
時:9月11日(水) 13:30~15:30
場:よりみちサロンいおり(田辺市)
問:田辺市社会福祉協議会 紀南福祉人材バンク ☎0739-26-4918

けんりついだいほけんかngoがくぶこうかいこうざ
県立医大保健看護学部公開講座

テーマ:生き生き健康づくり
時:10月5日(土) 13:00~15:00
場:県立医大保健看護学部(和歌山市)
対・定:中学生以上 100人 **先着順**
申・問:郵送、FAXで住所、氏名、年齢、電話番号を県立医大保健看護学部事務室 〒641-0011和歌山市三葛580
 ☎073-446-6700 FAX073-446-6720
 和歌山県立医大

せんざいかんごしよくふくしよくしえんけんしゅう
潜在看護職復職支援研修

講義・演習・臨地実習
時:10月16日(水)~18日(金)・21日(月)・23日(水)・24日(木)
場:情報交流センター Big・U(田辺市)、県内病院など
対・定:看護職の有資格者で現在就業していない方 20人 **先着順**
申・問:郵送、電話、FAX、Eメールで所定の申込書(申込先で配布)を9月30日までに県ナースセンター 〒642-0017海南市南赤坂17
 ☎073-483-0234 FAX073-483-1266
 riji@wakayama-kangokyokai.or.jp
 和歌山県看護協会
 ※一時保育は要予約

さいしん いがく いりょう
最新の医学・医療カンファランス

テーマ:①健康を維持するための食生活のすすめ②聞いて得するくすりの話
時:9月12日(木) 14:00~16:00
場:県立医大紀三井寺キャンパス図書館棟(和歌山市)
定:100人 **先着順**
問:県立医大生涯研修センター
 ☎073-441-0789
 和歌山県立医大

にんちしょうしつかんいりょう
**認知症疾患医療センター
 市民公開講座**

時:9月28日(土) 15:00~17:00
場:県立医大講堂(和歌山市)
定:400人
問:県立医大認知症疾患医療センター
 ☎073-441-0776
 和歌山県立医大病院

せいねんこうけんせいど
**成年後見制度・
 くらしなんでも相談会**

第1部 成年後見制度説明会
 第2部 くらしなんでも相談会
時:①10月8日(火)②28日(月)③11月25日(月)④26日(火)⑤12月2日(月)⑥令和2年1月21日(火)⑦24日(金) いずれも13:30~16:30
場:①県庁北別館②那賀振興局(岩出市)③日高振興局(御坊市)④伊都振興局(橋本市)⑤有田振興局(湯浅町)⑥東牟婁振興局(新宮市)⑦西牟婁振興局(田辺市)
定:各8人 **先着順** (第2部のみ・要申込)
申・問:郵送、FAXで所定の申込書(申込先、WEBサイトなどで配布)を開催3日前までに県庁福祉保健総務課 FAX073-425-6560
 ※手話通訳・要約筆記は要予約



**ゆうあいスポーツフェスタ
 ボランティア**

知的障害のある方々の交流と親睦を図るスポーツ祭典の手伝い
時:11月17日(日) 9:30~16:30
場:和歌山ビッグホエール(和歌山市)
対:県内在住の18歳以上(平成31年4月1日現在)の方
申・問:電話、Eメールで住所、氏名、生年月日、電話番号、メールアドレスを9月24日までに県ゆうあいスポーツフェスタ実行委員会 ☎073-487-4352
 wakayamayuuai@yahoo.co.jp

はったつしょうがいじ しや じゅんかいそくだん
発達障害児・者 巡回相談

時・場:①橋本保健所 10月17日、11月14日の木曜
 ②御坊保健所 9月20日、10月18日、11月15日の金曜
 ③新宮保健所串本支所 11月28日(木) いずれも11:00~16:00
申・問:電話、FAX、Eメールで希望日1週間前までに県発達障害者支援センターポラリス ☎073-413-3200 FAX073-413-3020
 polaris@jtw.zaq.ne.jp

けんなんびょう こ ほけんそくだん
**県難病・子ども保健相談
 支援センターからのお知らせ**

①疾患別患者・家族交流会
時:[1]特発性間質性肺炎 9月25日(水) 13:30~15:30
 [2]ベーチェット病 10月5日(土)10:00~12:00
 [3]重症筋無力症 10月5日(土) 13:30~16:00
場:[1][2]*県難病・子ども保健相談支援センター(和歌山市) [3]県立医大病院(和歌山市)
対・定:患者、家族 各10人 **先着順**
 ②難病患者の就労・年金・療養相談会
時:10月3日(木) 13:30~16:30
場:和歌山市中央コミュニティセンター
対・定:患者、家族 15人 **先着順**
 ③小児1型糖尿病講演会
時:10月5日(土) 14:00~15:30
場:和歌山ビッグ愛(和歌山市)
対・定:患者、家族、保健・医療・福祉関係者など 50人 **先着順**
 ①~③共通
申・問:電話、FAXで行事名、住所、氏名、電話(FAX)番号、(③のみ一時保育の有無)を開催10日前までに県難病・子ども保健相談支援センター ☎073-445-0520 FAX073-445-0603
 ※②③手話通訳・要約筆記は要予約



やくざいし たいけん
子ども薬剤師体験イベント

時:11月24日(日) ①10:00~12:30 ②13:30~16:00
場:県立医大病院(和歌山市)
対:県内在住の小学5・6年生
定:各24人 **抽選**
申・問:ハガキで住所、氏名(ふりがな)、学年、学校名、保護者氏名、電話番号を9月30日までに県立医大病院薬剤部 〒641-8510和歌山市紀三井寺811-1 ☎073-441-0505
 和歌山県立医大病院



おしらせ

県庁・県教育庁

☎073-432-4111(代表)
 〒640-8585 ○○○課あて
 (県庁の住所記入不要)

和歌山県のWEBサイトは
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

各振興局代表電話

海草	県庁代表と同じ
健康福祉部	☎073-482-0600
建設部	☎073-423-3281
那賀	☎0736-63-0100
伊都	☎0736-34-1700
健康福祉部	☎0736-42-3210
有田	☎0737-63-4111
日高	☎0738-22-3111
健康福祉部	☎0738-22-3481
西牟婁	☎0739-22-1200
東牟婁	☎0735-22-8551
健康福祉部	☎0735-72-0525
串本支所	
串本建設部	☎0735-62-0755

時…期日・時間 **場**…場所・会場
対…対象・資格 **定**…定員 **費**…費用
申…申込・応募方法 **問**…問合せ
 ☐…Eメール
 QRコード…県ウェブサイトへリンク
 🔍…ウェブサイトを検索
 *は県庁の敷地内にはありません

えいが じょうえいかい
バリアフリー映画上映会

「湯を沸かすほどの熱い愛」を字幕・音声解説付きで上映
時:9月22日(日) 13:30~16:00
場:情報交流センター Big・U(田辺市)
定:50人 **先着順**
申・問:郵送、電話、FAX、Eメールで住所、氏名、電話番号を9月14日までに県点字図書館 〒640-8319和歌山市手平2-1-2
 和歌山ビッグ愛5階
 ☎073-488-5721 FAX073-488-5731
 wakaten@wakaten.jp
 和歌山県点字図書館

和歌山県優良県産品
プレミア和歌山
 『プレミア和歌山』は、“和歌山らしさ”“和歌山ならではの”の視点で審査し、優良な県産品を推奨する制度です。

木のくのにの恵み **なた豆茶**
 原材料のなた豆は農薬不使用で、栽培から加工まで一貫生産しています。天日干し、自家焙煎にこだわった、安心・安全な美味しい商品です。
 日高元気塾 ☎0738-63-2944

抽選で**10名**様にプレミア和歌山推奨品「木のくのにの恵み **なた豆茶(50g)**」をプレゼント!
 9月20日(金) <消印有効>までに住所、氏名、年齢、電話番号、商品名、県民の友への感想を記入のうえ、ハガキで〒640-8585(住所不要)和歌山県広報課「プレミア和歌山プレゼント」係へご応募ください。

※皆さんの個人情報、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。
問:県庁広報課 ☎073-441-2032
 プレミア和歌山



こうやさんろくせかいいざん
高野山麓世界遺産
アクセスバス

高野山麓地域の観光スポットを周遊できる特別バスを運行(有料)します。

運行日:9月14日~11月30日の土日祝

運行区間:橋本駅~丹生都比売神社、丹生都比売神社~高野山(奥の院前)

問:伊都振興局企画産業課

☎0736-33-4909

※詳しくはWEBサイトを要確認

高野・山麓いと楽し

だま
キャッシュカードを騙し
とさぎちゅうい
取る詐欺に注意してください

市町村職員や銀行員等になりすまし、キャッシュカードを騙し取る手口の詐欺が多発しています。市町村職員や銀行員等が「キャッシュカードを預かる」「カードの暗証番号を尋ねる」ことは絶対にありません。キャッシュカードは絶対に他人に渡さないようにしてください。不審な電話等があれば110番または警察相談電話「#9110」まで通報、相談してください。

問:県警察本部生活安全企画課

☎073-423-0110

自然の中で心はぐくむ体験がいっぱい!

せいしやうねんのいえ
青少年の家



きほくせいしやうねんいえ
紀北青少年の家

〒649-7112 かつらぎ町中飯降1317-3
☎0736-22-5530 FAX0736-22-5531

ハロウィンナイト

ピザ作り、仮装パーティーなど

時:10月12日(土)~13日(日)1泊2日

対:小学3~6年生

定・費:40人(先着順) 4,000円

申:9月28日まで

ピーシーピー じぎょうけいぞくけいかく
BCP(事業継続計画)
ワークショップ

災害時の備えとして簡易版BCPを策定

時:10月18日(金)13:15~17:15

場:東京海上日動火災保険(株)和歌山支店(和歌山市)

対:県内中小企業者

定:20人(先着順)

申:FAXで所定の申込書(申込先で配布)を9月27日までに東京海上日動火災保険(株)和歌山支店 FAX073-431-1371

問:申込先☎073-431-1109、

県庁商工振興課

ちいき みりょくさいはっけんけんしゅうかい
地域の魅力再発見研修会

地域づくり活動に関する講演・ワークショップ

時・場:①10月11日(金)粉河ふるさとセンター(紀の川市)②10月29日(火)上富田文化会館(上富田町)③10月30日(水)日高川交流センター(日高川町)いずれも10:00~16:00

定:各50人(先着順)

申・問:郵送、FAX、Eメールで住所、氏名、職業、電話番号、参加希望会場を①10月4日②21日③23日までに県庁地域政策課

FAX073-441-2377

☐ e0202001@pref.wakayama.lg.jp

わかやまけんじんかいせかいたいかい
和歌山県人会世界大会

移民の歴史の紹介や国内外の県人会を迎える記念式典・コンサート

時:11月24日(日)16:00~17:30

場:県民文化会館(和歌山市)

定:1,000人(抽選)

申:郵送、FAX、Eメール、インターネットで所定の申込書(申込先、WEBサイトで配布)を10月20日までに県人会世界大会実行委員会

〒640-8577和歌山市湊本町3-3

FAX073-428-0960

☐ info@all-wakayama.com

問:県庁国際課

和歌山県人会 世界大会

※要約筆記は要予約

しほうしょし むりょうそうだんかい
司法書士による無料相談会

①高齢者・障害者のための成年後見相談会

時:9月16日(祝)10:00~16:00

場:プラザホープ(和歌山市)

②「法の日」司法書士無料相談会

相続登記や遺言、借金、成年後見に関することなど

時:10月1日(火)~7日(月)10:00~16:00(土日除く)

場:法務局、県内各司法書士事務所

①②共通

問:県司法書士会 ☎073-422-0568

和歌山県司法書士会

だい かい き くにしゅうよく
第2回紀の国就職フェア

時:9月22日(日)13:00~16:00

場:和歌山ビッグ愛(和歌山市)

対:一般求職者、令和2年3月卒業予定の大学・短大・高専・専門学校生(既卒3年以内の方を含む)

問:県庁労働政策課

UIわかやま就職ガイド

※手話通訳は要予約

ひがいしゃしえんむりょうそうだん
被害者支援無料相談

犯罪や交通事故などの被害者やその家族からの相談に応じます

時・場:①10月5日(土)新宮市福祉センター②10月12日(土)打田生涯学習センター(紀の川市)

いずれも10:00~16:00

申・問:電話で前日までに紀の国被害者支援センター

☎073-427-1000

トランポリンサークル

時:9月29日、10月13日、12月1・15日、令和2年1月5日、2月9・23日、3月1・8・22日 いずれも日曜

10:30~11:45(全10回)

場:県立橋本体育館(橋本市)

対:4歳以上

定:15人(先着順) ※当日参加5人まで

費:5,140円(全10回分)

申・問:持参で所定の申込書(申込先で配布)と参加費を会場

橋本市北馬場455 ☎0736-32-9660

和歌山県立橋本体育館

※当日参加費用など詳しくは要問合せ

げきだんしき
劇団四季ミュージカル「エビータ」

時:9月15日(日)18:30~

場:県民文化会館(和歌山市)

定:1,944人(全席指定)(先着順)

費:S席8,500円、A席6,000円、B席3,000円

申・問:電話、インターネットで会場

☎073-436-1331

※各プレイガイドでも発売

和歌山県民文化会館

※未就学児入場不可



だいがくせいとうしんがききゅうふきん
大学生等進学給付金

令和2年度入学予定の給付希望者を募集

対:保護者(親権者)の市町村民税所得割が非課税、県内へのUターン志望者であるなど

※詳しくは要問合せ

定:40人(選考)

給付金額:60万円/年(4年間総額240万円)

申:所定の申込書(申込先で配布)を9月30日までに在学学校

問:県教育庁生涯学習課

かいし しょくぎょうくねんじゆこうせい
11月開始の職業訓練受講生

就職に有利な専門知識や技能を修得

科目:①医療(医科)・調剤事務科②CAD・NC技術科③パソコン基礎科④介護初級科⑤パソコン・簿記事務科⑥パソコン・総務経理事務科

場:①②和歌山市③岩出市④かつらぎ町⑤御坊市⑥田辺市、新宮市

申・問:ハローワーク(申込締切日あり) ※詳しくはWEBサイトを要確認

和歌山労働局 職業訓練

さいしゅうしょくしえん
再就職支援セミナー

①女性対象

時:[1]9月13日(金)[2]27日(金)[3]10月4日(金)[4]10日(木) いずれも10:00~11:30([1]のみ10:00~12:00)

場:[1]松てるわ広場(美浜町)

[2][4]橋本市保健福祉センター

[3]情報交流センターBig・U(田辺市)

定:各20人(先着順)

②高齢者対象

時:[1]9月14日(土)[2]10月5日(土) いずれも13:30~15:30

場:[1]有田市文化福祉センター[2]岩出市商工会館

定:各25人(先着順)

①②共通

申・問:電話、FAX、Eメール、インターネットで住所、氏名、年齢、性別、電話番号を県再就職支援センター

☎073-421-8080 FAX073-424-0230

☐ jobcycle@re-employment.org

和歌山県再就職支援センター

けんだんじよきょうどうさんかく
県男女共同参画センター
“りいぶる”からのお知らせ

①保育つき読書の時間

時:9月26日(木)10:30~12:00

場:県男女共同参画センター(和歌山市)

対・定:保護者と子供(1歳~未就学児)10組(先着順)

②男女共同参画公開セミナー

「女らしくなく 男らしくなく 自分らしく」

講師:露の団姫氏(落語家・僧侶)

時:9月22日(日)

13:30~15:00

場:桜台地区公民館

(岩出市)

定:100人(先着順)

③大人のための

“りいぶる”読み語り広場

時:10月18日(金)10:30~11:30

場:県男女共同参画センター(和歌山市)

定:20人(先着順)

①~③共通

申・問:郵送、電話、FAX、Eメール、インターネット、来所で住所、氏名、電話番号、(①のみ子供の名前・年齢)を(②一時保育・手話通訳・要約筆記希望者③一時保育希望者は開催10日前までに)県男女共同参画センター

〒640-8319和歌山市手平2-1-2

和歌山ビッグ愛9階

☎073-435-5245

FAX073-435-5247

☐ libre@sirius.ocn.ne.jp

へいせい ねんどぶんかひょうしょうじゆしょうきねん
平成30年度県文化表彰受賞記念

①記念展(受賞者の作品紹介など)

時:9月20日(金)~29日(日)9:30~17:00

場:県民文化会館(和歌山市)

②上映会(小林稔侍氏トークイベント&映画「星めぐりの町」)

時:11月6日(水)18:30~21:00

場:県民文化会館(和歌山市)

定:300人(抽選)

申:往復ハガキで氏名(1枚で2人まで・フリガナ)、代表者電話番号、上映会の日時を9月30日までに問合先

①②共通

問:県庁文化学術課



クリーニング師

時:11月7日(木)10:30~
 場:県民文化会館(和歌山市)
 費:7,000円(手数料)
 願書配布:申込先、県庁食品・生活衛生課、WEBサイト
 申・問:10月1~10日に住所地を管轄する保健所(支所)



9月はオゾン層保護対策推進月間

フロン類は、大気中に放出されるとオゾン層を破壊するだけでなく、地球温暖化の原因にもなります。冷凍冷蔵庫やエアコンなど、身近なところにもフロン類は使用されています。冷凍冷蔵庫などを購入するときは、フロン類を使わない製品を選び、フロン類が使用されている機器を廃棄するときは、必ず決められた業者に引渡ししましょう。

問:県庁環境管理課

9月10日は世界自殺予防デー(自殺予防週間9/10~16)

あなたの気づき・傾聴・つなぎ・見守りで救われる命があります。自殺対策推進センター相談電話「はあとライン」(24時間365日対応) ☎073-424-1700
 問:県精神保健福祉センター ☎073-435-5194

職業訓練指導員採用

試験区分:①メカトロニクス・CAD科 ②自動車工学科③観光ビジネス科
 時:【一次】11月2日(土) 【二次】12月8日(日)
 場:和歌山産業技術専門学校(和歌山市)
 採用予定人数:各1人
 受験資格:各訓練科に応じた職業訓練指導員の免許などを取得または取得見込みで昭和55年4月2日以降に生まれた方
 ※詳しくは試験案内を要確認
 勤務地:①和歌山市②和歌山市または田辺市③田辺市
 願書配布:申込先、県人事委員会事務局、振興局総務県民課、田辺産業技術専門学校、会場
 申・問:郵送、持参で9月13日~10月17日に県庁労働政策課



障害者を対象とした職員採用

時:10月27日(日)
 場:県民文化会館(和歌山市)
 試験区分・採用予定人数:一般事務3人程度、学校事務2人程度、警察事務1人程度
 ※受験資格など詳しくは試験案内またはWEBサイトを要確認
 願書配布:申込先、県パスポートセンター、振興局総務県民課など
 申・問:郵送、インターネット、持参で9月19日までに県人事委員会事務局
 ※手話通訳・要約筆記は要予約



試験しけん

県立産業技術専門学校生徒

時:10月16日(水)9:30~
 場:和歌山産業技術専門学校(和歌山市)、田辺産業技術専門学校(田辺市)、東牟婁振興局(新宮市)
 対:普通課程(8学科)=高校卒業(見込)者など、短期課程(1学科)=軽度の知的障害のある方
 定:各科10~25人(選考)
 費:2,200円(県証紙、普通課程のみ)
 願書配布:各産業技術専門学校、ハローワーク
 申:9月25日~10月4日に令和元年度高校卒業予定の方は在籍学校、それ以外の方および短期課程希望者はハローワーク
 問:和歌山産業技術専門学校 ☎073-477-1253
 田辺産業技術専門学校 ☎0739-22-2259



県農林大学校林業研修部 研修生

課程	林業経営コース
募集人員	10人
修業期間	1年
試験場所	農林大学校林業研修部(上富田町)
願書受付	10月15~29日
試験日	11月9日(土)

問:県農林大学校林業研修部 ☎0739-47-4141



今月の催し

青字施設 は65歳以上、障害者、高校生以下、外国人留学生などは入場無料
 赤字施設 は入場無料
 展 は展示
 イベント はイベント

県立近代美術館 ☎073-436-8690 FAX073-436-1337
 9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)
 展 コレクション展2019-秋 9月10日(火)~10月20日(日)
 展 企画展「時代の転換と美術『大正』とその前後」 9月18日(水)~10月20日(日)

県立博物館 ☎073-436-8670 FAX073-436-6643
 9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)
 展 企画展「真景図-旅する画家が見た風景-」 ~10月6日(日)

県立紀伊風土記の丘 ☎073-471-6123 FAX073-471-6120
 9:00~16:30(入館は16:00まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)
 連続講座「岩橋千塚」 9月15日(日)13:30~15:30
 対・定:小学生以上 30人(先着順)
 館長講座③「世界の博物館をたずねて」 9月21日(土)13:30~15:00
 対・定・申:小学生以上 30人(先着順) 9月6日13:00~
 秋期特別展「開かれた棺-紀伊の横穴式石室と黄泉の世界-」 9月28日(土)~12月1日(日)

県立自然博物館 ☎073-483-1777 FAX073-483-2721
 9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)
 展 標本作品展 9月19日(木)~23日(祝)
 家族で体験、夜の水族館 10月12日(土)~13日(日)
 対・定:3歳以上の子供とその家族 30人(抽選)
 費・申:1,000円 9月28日まで
 川原の石の観察会 10月20日(日)13:00~15:30
 場:紀の川河川敷(紀の川市)
 対:小学生以上(小学生は保護者同伴)
 定・申:15人(抽選) 10月6日まで

県立図書館 ☎073-436-9500 FAX073-436-9501
 641-0051 和歌山市西高松1-7-38
 県立紀南図書館 ☎0739-22-2061 FAX0739-22-4773
 646-0011 田辺市新庄町3353-9 (県立情報交流センター Big・U内)
 いずれも9:00~19:00(土日祝は18:00まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日) 毎月第2木曜

県立図書館
 ボランティアによる「おはなし会」 9月14・21・28日(土)14:00~10月5日(土)11:00~

県立図書館
 エントランスコンサート 10月4日(金)12:00~12:30
 定:100人程度(先着順)
 県立紀南図書館
 ゆうゆうおはなし会 9月15・22・29日、10月6日(日)11:00~11:30

片男波公園万葉館 ☎073-446-5553 FAX073-446-5554
 9:00~17:00(入館は16:30まで)

体験教室
 ①おしゃれでかわいいご祝儀袋をつくろう! 9月22日(日)10:00~11:00、11:15~12:15、13:30~14:30、14:45~15:45
 ②ハロウィン~カボチャのお菓子入れを作ろう! 9月23日(祝)10:00~11:00、11:15~12:15、13:30~14:30、14:45~15:45
 対:小学生以上(小学生は保護者同伴)
 定:各8人
 費:①1,000円②1,500円
 申:事前申込
 万葉学習セミナー「万葉集入門」(全3回) 9月29日、10月27日、11月24日(日)14:00~15:30
 対・定:16歳以上 各20人(先着順)
 費・申:500円/回 事前申込



県植物公園緑花センター ☎0736-62-4029 FAX0736-63-2570
 9:00~17:00(入館は16:30まで) 休館/火曜(祝日の場合次の平日)

9月の花ごよみ グリア、サルビア、タイタンピカス、スイフヨウ
 森のキノコ展 9月14日(土)13:00~15日(日)
 キノコ観察会 9月15日(日)13:30~15:30
 申:当日13:00~
 黒潮愛蘭会・秋の展示会 9月21日(土)・22日(日)



県動物愛護センター ☎073-489-6500 FAX073-489-6504
 640-1251 紀美野町国木原372 10:00~17:00 休館/火曜

犬・猫の飼い方講習会 9月8日(日)・14日(土)・18日(水)・22日(日)・28日(土)、10月4日(金)・13日(日)・27日(日)11:00~
 ※譲渡会は常時開催しています。譲渡を受けるには受講と、犬については狂犬病予防注射接種代2,640円が必要です。
 わうフェスタin動物愛護週間 犬の散歩体験、動物とのふれあい、ぬり絵など 9月23日(祝)10:00~17:00
 犬・猫のミルク・一時預かり・譲渡ボランティア講習会 ①9月30日(月)②10月7日(月)③9日(水)④11日(金)13:30~14:30
 場:①東牟婁振興局(新宮市)②御坊保健所③西牟婁振興局(田辺市)④湯浅保健所
 ※手話通訳・要約筆記は要予約

南紀熊野ジオパークセンター ☎0735-67-7100 FAX0735-67-7191
 649-3502 串本町潮岬2838-3 9:00~17:00

展 ビーチの砂から生物探し(有孔虫・ウニなど) 10月1日(火)~31日(木)

新規会員を募集しています

特定非営利活動法人和歌山県自閉症協会
会長:大久保尚洋

自閉症児者に対する支援と育成を図るとともに、社会一般への理解・啓発を促進します。さらに、自閉症児者とその家族にとって暮らしやすい地域づくりをめざし、安心・安全で豊かな生活をおくれるように支援者、関係者、保護者が一丸となって活動を進めています。

先輩の保護者の話を聞いてみたい人、お困りの人、自閉症を支援したいと思っている方は、ぜひご入会ください。

会費:正会員
個人(保護者) 入会金 3,000円、年会費 7,000円
個人(関係者) 入会金 3,000円、年会費 4,000円
団体 入会金10,000円、年会費30,000円

賛助会員
個人 年会費3,000円、団体 年会費10,000円(入会金不要)

問:特定非営利活動法人和歌山県自閉症協会
☎0739-25-1018

9月9日は救急の日

問:県庁医務課 ☎073-441-2604

緊急性が低い場合は救急車の利用は避ける、急病以外は通常診療時間内に受診する等、救急医療の適正利用をお願いします。

こんなときは・・・
休日夜間に子供が急病になり、すぐに病院に行くべきか迷ったとき
子ども救急相談ダイヤル#8000
看護師などが相談に応じます。
相談時間:平日19:00～翌朝9:00
土日祝日・年末年始(12/29～1/3)9:00～翌朝9:00
☎#8000(プッシュ回線・携帯電話)
073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

受診可能な医療機関を知りたいとき
和歌山県救急医療情報センター(24時間)
※歯科の時間外案内は行っておりません。
☎073-426-1199

相談 お気軽どうぞ

※弁護士や労働委員会委員による相談は、事前の電話予約で先着順となっています。詳しくは、各相談窓口へお問い合わせください。

県民相談 ☎073-441-2356
交通事故相談 ☎073-441-2359

常設相談 場所/県庁県民相談室、
県庁交通事故相談所
相談 日時/要問合せ
場所/西牟婁振興局 ☎0739-26-7903
東牟婁振興局 ☎0735-21-9611

弁護士による相談 日時/要問合せ
場所/県庁県民相談室、県庁交通事故相談所、振興局、海南保健所、串本町文化センター

若者総合相談 ☎073-428-0874
☎0736-32-0874
☎0739-24-0874

常設相談 場所/若者サポートステーション With You(和歌山・橋本・田辺)
With You 和歌山

性暴力被害相談 ☎073-444-0099

常設相談 日時/9:00～21:30
※緊急避妊など緊急医療は22:00まで
場所/わかやまmine(マイン)

警察相談 ☎#9110

常設相談 日時/毎日24時間
ダイヤル回線の場合 ☎073-432-0110

医療安全相談 ☎073-441-2611

常設相談 場所/県庁医務課
日時/平日9:00～12:00、13:00～16:00
※県立保健所総務健康安全課(串本支所は保健環境課)でも実施しています。
弁護士による相談 日時/要問合せ
場所/県庁医務課

福祉サービス相談 ☎073-435-5527

常設相談 場所/県福祉サービス運営適正化委員会(和歌山ビッグ愛7階 県社会福祉協議会内)

「ジョブカフェわかやま」
就職出張相談 ☎073-402-5757

相談 日時/要問合せ(毎月1～2回)
場所/ハローワーク(和歌山・海南を除く)
ジョブカフェわかやま

子どもと家庭のテレフォン110番 ☎073-447-1152

常設相談 日時/毎日24時間

女性・男性相談 ☎073-435-5246

場所/県男女共同参画センター「りいぶる」(和歌山ビッグ愛9階)
総合相談 電話など(常設、月曜休館)
専門相談 カウンセリング・法律相談(女性のみ)、男性相談
日時/要問合せ

人権全般・同和問題相談 ☎073-421-7830

常設相談 場所/県人権啓発センター(和歌山ビッグ愛2階)
※県庁人権局 ☎073-441-2563、振興局でも実施しています。
弁護士による相談 日時/要問合せ
場所/県人権啓発センター
☎073-435-5420

労働相談 ☎073-436-0735

常設相談 日時/火・水・木・金曜16:00～20:00
土・日曜10:00～16:00
※面接相談は要予約
場所/労働情報センター(和歌山市北出島1-5-46)
労働委員会委員による月例労働相談
☎073-441-3781
日時/毎月第1・3水曜13:00～15:00
場所/県庁労働委員会室

人 連 載 ころの気づき

子供たちの笑顔のために「里親」をはじめてみませんか?

問 県庁子ども未来課 ☎073-441-2490

子供は保護者の深い愛情に包まれ、家庭で健やかに育つことが望めます。

しかし、私たちの身近にはさまざまな事情により保護者と暮らすことができない子供たちがいます。そのような子供たちを家庭に迎え入れ、心身の成長を支えてくれる方を「里親」といいます。

県では、家庭での養育が困難になった子供や保護者を失った子供と一緒に暮らし、深い愛情と正しい理解をもって育ててくださる「里親」を募集しています。

「里親」には、養子縁組を行う「養子縁組里親」、養子縁組を目的とせずに必要な期間養育する「養育里親」があります。

あなたとの出会いを待っている子供たちがいます。

家庭を必要とする子供たちのために「里親」になってみませんか?

【問い合わせ】
子ども・女性・障害者相談センター
(中央児童相談所) ☎073-445-5312
紀南児童相談所 ☎0739-22-1588
紀南児童相談所新宮分室 ☎0735-21-9634
里親支援センター「なでしこ」 ☎0736-69-1004
里親支援センターほっと ☎0739-34-2735

※8月号掲載広告で、和歌山県シルバー人材センター連合会の電話番号に誤りがありました。正しくは上記の内容になります。深くお詫び申し上げます。



広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:30
9月 1日 わかやまスマート農業フェア
9月 8日 宇宙シンポジウムin串本
9月15日 和みわかやま 東京レセプション
9月22日 交通事故ゼロをめざして
9月29日 知事と語る

県民チャンネル

月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド

毎月最終金曜 19:30~19:59

ラジオ 和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00

※土・日曜は再放送がありません。

ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:40~16:00

放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

第32回全国健康福祉祭和歌山大会
ねんりんピック
紀の国わかやま2019
あふれる情熱 はじける笑顔
令和元年11月9日(土)~12日(火)

ねんりん通信 14

あなたの「健康」に再度目を向けてみませんか?

ねんりんピックの各交流大会会場では、健康度チェック、健康相談、食生活・栄養改善や運動に関する助言・指導を行う「健康づくり教室」を実施します。

参加費は無料で、どなたでも参加できますので、選手の方々の応援と併せて、ぜひ体験してください。

各交流大会会場については、公式ウェブサイトを参照ください。



問 ねんりんピック紀の国わかやま2019
実行委員会事務局
☎073-441-2570 ねんりん 和歌山

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ



あいさつ

「あの学校はとても良い教育をしている。訪問したら、廊下ですれ違う生徒さんが皆こんにちはと声を掛けてくれた。」こういった評価を時々聞きます。私もそう思います。子供たちにちゃんと礼儀作法を教えているなあと好感を持ちます。

しかし、この反対のこともよく聞きます。特に県政メールなどで、県庁を訪ねたが、誰も挨拶もしない、部屋に入っても皆知らんぷりだというお叱りを受けることがあります。それはたいへん申し訳ないことだと思っています。

やっぱり挨拶はした方が良いなあ、見知らぬ人に対しても軽く会釈をしたり、頭を下げた方が良いなあと思います。

私が思うに、日本人は見知らぬ人にはあまりにこにこしい傾向があるようです。海外で良いことの一つは、出会った見知らぬ人がちょっと会釈して、にっこりしてくれることですが、日本人は仲良くなると、たっぷりと挨拶してくれるのに、心根の優しい人でも初対面の時は素っ気ないという人が多いようです。日本と違って外国では、味方でない人は皆敵というような歴史の中で文化、習慣を育んできましたから、敵ではないよという意思表示としてにっこりせざるを得ないのかもしれない。日本人は皆お仲間ですからね。それに日本人は恥ずかしがり屋さんが多いからかもしれません。

しかし、良い所はどんどん取り入れれば良いし、和歌山県も感じの悪いところだと思われる、移住定住も、企業誘致も、観光にもよくありません。第一気分も違いますよね。従って挨拶、会釈を皆でどんどんするようにしようではありませんか。声を出すのが恥ずかしかったら、ちょっと頭を下げたり、ちょっとにっこりでもいいと思います。私も頑張ります。県庁でもあいさつ運動を進めたいと思います。

和歌山県知事 仁坂 吉伸



手話表現紹介動画はこちらから

環境に優しい植物油インクと古紙/パルプ配合率80%再生紙を使用しています。

